

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立あこや学園	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1－1－1	竣工	S38.5(築満61年)
設置目的	市内に居住する1歳6カ月以上から就学前までの発達に遅れがある児童が通園し療育指導を行うため、児童福祉法第43条に規定する福祉型児童発達支援センターとして設置。		
主な事業内容	市内に居住する1歳6カ月以上から就学前までの発達に遅れがある児童に保育、発達検査、言語指導、給食・栄養相談等を行う。		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他（ ）

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	利用者の増											
	実施結果											
	利用者(障害児)を適切な支援につなげるため、利用者本人の障害特性を勘案し、他の市内児童発達支援センターも含めた協議を実施している。令和6年度は定員50人に対し49人受け入れ(受入率98%)、目標を概ね達成できている(指標②)次年度も、卒園により定員の空きが増えることも踏まえ、新規受け入れに向けて取り組んでいく。											
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況											
	指標①：支援への満足度（単位：％）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	-	-	-	-	-	-	94%	100%	98%		
効率性	達成度	-	-	-	-	-	-	94%	100%	98%		
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○		
	指標②：施設利用率（単位：％）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	98%	98%	98%	100%	100%
	実績	-	-	-	95%	97%	91%	102%	96%	92%	98%	
	達成度	-	-	-	-	-	-	98%	94%	98%		
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○		
	◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）											
	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか											
パートナーシップ	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することを目指す。											
	実施結果及び評価											
	保護者アンケートを実施し、その結果から子どもたちの特性を把握・理解し、児童発達支援計画の作成に活かすことで、自立に必要な生活習慣を体得することに向けた療育の質の確保に取り組めていることから、市民サービスは維持できている。											○
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）											
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	不要な電気の消灯を徹底することで、無駄な支出を減らし、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境配慮につなげていく。											
	実施結果及び評価											
	電気代が高騰する中、こまめな消灯の徹底など経費削減の取組がされており、効率性と環境に配慮した施設管理は両立できている。											○
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している											
	(参考) 経費の状況（単位：円）											
	収入			支出								
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引				
	指定管理料	149,020,000	149,412,000	392,000	人件費	116,052,000	132,185,433	-16,133,433				
					事業費	7,522,000	11,162,808	-3,640,808				
					事務費・維持管理費	19,895,000	21,821,516	-1,926,516				
					その他	5,551,000	5,551,000	0				
	収入計	149,020,000	149,412,000	392,000	支出計	149,020,000	170,720,757	-21,700,757				

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	一人ひとりの特性や発達段階に応じ、個別支援計画に沿って学園と家庭が連携し、他の保育園との交流も積極的に行うなど、きめ細かい療育等相談を通して、心身ともに健康で豊かな感性を持った子どもの育ちの支援に取り組んでおり、今後も積極的で効果的な運営が期待できるため。
指定管理者自身が設定した目標	子どもたちがきめ細かい療育を通じ、心身ともに健康で豊かな感性を持って成長し、それぞれの地域において健康で生き生きとした生活が送れるよう、地域に対し開かれた児童発達支援センターを目指す。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することができる。						
目標指標	指標	あこや学園の利用率(％)					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価
	目標値	98.00	98.00	98.00	100.00	100.00	
	実績値	96.00	92.00	98.00			

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	要改善
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	適宜、報告・連絡を取り合い、必要に応じて協議の場を設けるなど密に連携することで関係強化を図った。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	適宜、連絡を取り合い、必要に応じて協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制の検討を行うことで、事業継続とサービス提供水準を維持することができた。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	通園事業の実施に加え、地域に向けた公開療育「オープンあこや」の実施や、地域の子育てに不安のある親子を対象にした「きらきらクラブ」「わくわくクラブ」や「園庭開放」の広報方法の見直し等を通して、利用者の拡大、あこや学園の周知に努めてきた。今後、変化する社会情勢に応じた支援のあり方を検討していくとともに、地域支援機能の一層の充実が必要だと考えている。また、尼崎市の児童発達支援センターとしての中核機能を担っていくために、人員配置や事業運営について尼崎市と委託料を含めた協議、共通理解を図っていく必要があると考えている。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	年度目標を概ね達成することができ、利用者満足度も高く、指定管理業務は良好に遂行されている。今後も協力的な関係性を築き、市と指定管理者とで十分に協議しながらサービスの向上を図っていきたい。他方、指定管理者においては、近年の急激な人件費の高騰等により経営が悪化しており、改善に向けた取組が必要である。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	利用率に関する目標はおおむね達成することができた。引き続き、市と指定管理者で協議・共通理解を図りながら、より良い事業運営を目指すしていく。	
	指定管理者自身の経営状況については、法人の令和7年度収支分析等を行う中で、指定管理委託料の考え方の整理等を含めて経営改善に取り組む。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立たじかの園	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当			
施設住所	尼崎市三反田町1-1-1	竣工	S60.6(築満39年)			
設置目的	市内に居住する1歳から就学前までの肢体不自由児に対して、療育サービスを提供するため、児童福祉法第43条に規定する医療型児童発達支援センターとして設置。					
主な事業内容	市内に居住する1歳から就学前までの運動発達に支援や治療が必要なこどもたちに対して、保護者との通園事業等を実施することによる療育サービスを提供する。					
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団		指定期間	自	R4.4.1	至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用率の増

実施結果

尼崎市立たじかの園では、令和6年度に、児童福祉法改正に伴う児童発達支援センターの類型一元化に対応するため、その利用定員数についても見直しを行った(24人)。従来より、目標達成のため各関係機関に情報周知していたことから、現在の契約者数は24人であり、結果的に目標達成につながった。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：支援への満足度（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
実績	-	-	-	-	-	-	92%	75%	67%		
達成度	-	-	-	-	-	-	92%	75%	67%		
評価	-	-	-	-	-	-	○	△	△		

指標②：施設利用率（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	70%	72%	72%	100%	100%
実績	-	-	67%	70%	66%	63%	41%	48%	100%		
達成度	-	-	-	-	-	-	59%	67%	100%		
評価	-	-	-	-	-	-	△	△	○		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

通園児が集団生活をととして社会性をのばし、自立に必要な生活習慣を体得することを目指す。

実施結果及び評価

保護者アンケートを実施し、その結果からこども達の特性を把握・理解し、児童発達支援計画の作成に活かすことで、自立に必要な生活習慣を体得することに向けた療育の質の確保に取組んでいることから、市民サービスは維持できている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

不要な電気の消灯を徹底することで、無駄な支出を減らし、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境配慮につなげていく。

実施結果及び評価

電気代が高騰する中、こまめな消灯の徹底など経費削減の取り組みがされており、効率性と環境に配慮した施設管理は両立できている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	183,500,000	184,823,000	1,323,000	人件費	163,031,000	165,340,501	-2,309,501
				事業費	9,785,000	4,440,060	5,344,940
				事務費・維持管理費	3,848,000	9,759,476	-5,911,476
				その他	6,836,000	6,836,000	0
収入計	183,500,000	184,823,000	1,323,000	支出計	183,500,000	186,376,037	-2,876,037

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	就学前の児童の通園事業のみならず、成人に至るまでの障害児(者)の在宅における生活に対して、それぞれのニーズに応じ、ライフステージを通じた一貫性のある支援を提供しており、利用者の福祉の向上に寄与しているため。
指定管理者自身が設定した目標	園での療育イメージ「たじかのっこの大きな木」に沿い、様々な経験が提供できるよう支援を充実して

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿		親子通園を通じて、機能訓練や保育、生活指導等を受け社会生活に適応するため、自立に必要な生活習慣を体得することができる。					
目標指標	指標	たじかの園の利用率(%)					
	指定期間	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	達成状況の評価
	目標値	35.45	35.41	35.51	35.61	35.71	目標を達成した。
	実績値	35.44	35.40	100.00			

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	要改善
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
適正性	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	電話やメール等で日常的に報告・連絡・相談を行っている他、必要に応じて対面で話をするばを設けるなどしたこと、関係性の向上につながった。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	令和6年度は、教育・障害福祉センターの長寿寿命化工事に伴い、たじかの園を一時移転していた。一時移転に伴うハード・ソフト両面で調整・整理が必要であったが、園側と緊密に連携・連絡をとることで大きな混乱なく事業実施することができた。	
パートナーシップ	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	児童福祉法改正により一元化後の児童発達支援センターとして、令和6年7月に旧医療型からの変更を行い、発達支援の充実を図った。保護者説明会には指定管理者とともに市担当課長が出席され、保護者の要望や意見を直接聴取された。また、令和7年4月の再移転に向け、診療所の建物改修や修繕箇所等の確認、保健所等との調整を市が率先して行われた。今後は障害種別によらない地域の中核拠点として、あこや学園との連携や体制づくりの充実強化、委託料の考え方を市と定期協議し、より貢献できるように努めていきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	利用率に関する年度目標は未達となっており、関係機関への情報の周知を図るなどしたが、利用率向上には大きく寄与しなかった。利用率の向上に向け、現在の取り組みを継続するとともに、利用率向上に向けた取り組みについて指定管理者と協議し考えていきたい。また、令和6年度に実施された児童福祉法改正による児童発達支援センター類型一元化による機能・役割の明確化を踏まえた、現状の施設が抱える支援課題等について、引き続き市と指定管理者とで共有し、より地域ニーズに即した施設となるよう取り組みを進めていきたい。	
	他方、指定管理者においては、近年の急激な人件費の高騰等により経営が悪化しており、改善に向けた取組が必要である。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	今年度の取り組みを継続しつつ、目標である園の利用率向上に向け、指定管理者が積極的に取り組んでいるアウトリーチ事業を活用するなど、さらなる事業展開について市と指定管理者で協議し、課題解決に取り組んでいく。令和6年度の利用定員数変更に伴い、利用率の指標が目標達成状況となったため、新たな目標設定について協議していく。	
	指定管理者自身の経営状況については、法人の令和7年度収支分析等を行う中で、指定管理委託料の考え方の整理等を含めて経営改善に取り組む。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者デイサービスセンター			施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当課		
施設住所	尼崎市七松町3丁目8番8号			竣工	H14.7(S55.3新築を一部改修・増築、築満43年)		
設置目的	在宅の心身障害者に対し、通所の方法により各種のサービスを提供することにより、その自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上等を図る施設として設置						
主な事業内容	障害者総合支援法に基づく生活介護事業と室内温水プール事業						
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団			指定期間	自	R6.4.1	至 R11.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)						
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☐ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()						

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）																																																																		
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 常時介護が必要な方にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。																																																																		
	実施結果 利用者のほとんどが障害区分5、6の常時介護の必要な重度障害のある方で、そのような方にも安定して各種サービスを提供することができた。（指標①②）																																																																		
	（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況																																																																		
	指標①：重度障害者の利用率（単位：％）																																																																		
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																							
	目標	-	-	-	-	-	-	95%	95%	95%	95%	95%																																																							
	実績	-	-	-	-	-	-	96%	97%	96%	96%																																																								
	達成度	-	-	-	-	-	-	102%	101%	101%																																																									
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○																																																									
指標②：平均障害区分※3月（年度最終月実績）における障害区分の平均、中間評価は11月																																																																			
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																								
目標	-	-	-	-	-	-	5.70	5.70	5.70	5.70	5.70																																																								
実績	-	-	-	5.83	5.80	5.77	5.80	5.75	5.77																																																										
達成度	-	-	-	-	-	-	102%	101%	101%																																																										
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○																																																										
◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）																																																																			
効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか																																																																		
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 利用者から要望を反映させる取組を行う。																																																																		
	実施結果及び評価 毎年、利用者アンケートを実施している。生活介護事業では、利用者や家族の意見を基に個別支援計画を作成し、サービス提供を行っている。										○																																																								
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）																																																																		
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか																																																																		
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。																																																																		
	実施結果及び評価 こまめな消灯の徹底や新電力の導入など経費削減、温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。										○																																																								
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している																																																																		
	（参考）経費の状況（単位：円）																																																																		
	<table><tr><th colspan="4">収入</th><th colspan="4">支出</th></tr><tr><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>差引</th><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>差引</th></tr><tr><td>指定管理料</td><td>88,042,000</td><td>88,042,000</td><td>0</td><td>人件費</td><td>68,048,000</td><td>78,057,637</td><td>-10,009,637</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>事業費</td><td>2,145,000</td><td>2,460,273</td><td>-315,273</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>事務費・維持管理経費</td><td>14,569,000</td><td>17,858,123</td><td>-3,289,123</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>その他</td><td>3,280,000</td><td>3,280,000</td><td>0</td></tr><tr><td>収入計</td><td>88,042,000</td><td>88,042,000</td><td>0</td><td>支出計</td><td>88,042,000</td><td>101,656,033</td><td>-13,614,033</td></tr></table>												収入				支出				項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引	指定管理料	88,042,000	88,042,000	0	人件費	68,048,000	78,057,637	-10,009,637					事業費	2,145,000	2,460,273	-315,273					事務費・維持管理経費	14,569,000	17,858,123	-3,289,123					その他	3,280,000	3,280,000	0	収入計	88,042,000	88,042,000	0	支出計	88,042,000	101,656,033
収入				支出																																																															
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引																																																												
指定管理料	88,042,000	88,042,000	0	人件費	68,048,000	78,057,637	-10,009,637																																																												
				事業費	2,145,000	2,460,273	-315,273																																																												
				事務費・維持管理経費	14,569,000	17,858,123	-3,289,123																																																												
				その他	3,280,000	3,280,000	0																																																												
収入計	88,042,000	88,042,000	0	支出計	88,042,000	101,656,033	-13,614,033																																																												

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者の障害状況等に応じた各種サービスを安定かつ充実して実施できること。						
指定管理者自身が設定した目標	常時介護が必要な重度障害者にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。						

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	常時介護が必要な方にも通所で各種のサービスを提供することにより、その生活の維持向上等を図る。						
目標指標	指標	平均障害区分※3月（年度最終月実績）における障害区分の平均、中間評価は11月時点					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	5.70	5.70	5.70	5.70	5.70	目標を上回り、重度障害者にサービスを提供できている。
	実績値	5.80	5.75	5.77			

パートナーシップ	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	要改善
	指定管理者自身の経営状況は健全か	要改善
	危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	協議事項があれば、所管課が施設を訪問する等、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
施設の設備や備品が老朽化する中、不備があるものについては随時報告を受け、修繕について随時協議を行っており、予算措置の必要があるものは速やかに所管課で予算措置を行うことで施設の安定的な運営が維持できている。令和6年度は、所管課と指定管理者で、長寿命化改修計画での工事内容の確認や計画に応じた修繕対応を協議したほか、送迎車の入れ替えによる運転手の負担軽減や送迎への影響について協議、検討した。		
指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）		
障害支援区分5・6の利用者(利用者全体の9割以上)の中でも胃ろう等の医療的ケアの必要な利用者は増えているものの、全体利用実績が微減となっている。また、地域活動では利用者参加型の会議「みんなの会議」を行い、できるだけ利用者の意見を尊重したデイのレクリエーション活動をおこなった。令和6年度は意見を反映し水族園への外出事業を行ない利用者・ご家族様ともに好評であった。また看護実習生を2期にわたり受け入れ、音楽会（オーケストラ演奏会）の開催やあまよう特別支援学校の卒業生の受入にむけて教職員を対象とした施設見学会を開催するなど、引き続き地域に開かれた施設としての取組を行う。		
市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）		
利用者のほとんどが、障害支援区分5・6の重度障害者であり、そのような方にも安定して障害サービスを提供した。今後も医療的ケアの必要な方を含めて、重度障害者へのサービス提供の担い手としての運営を求めている。他方、指定管理者においては、近年の急激な人件費の高騰等により経営が悪化しており、改善に向けた取組が必要である。		
双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）		
医療的ケアの必要な利用者への対応の拡充という今後の展望は、市・指定管理者共に一致している。一部、送迎車の入れ替えを行ったが、残りの送迎車など経年劣化がある備品が多く、今後、入れ替えが必要なものが多いため、その対応や運用方法についても引き続き協議を進めていく。指定管理者自身の経営状況については、法人の令和7年度収支分析等を行う中で、公募時の提案額からの物価上昇等情勢変化を踏まえた指定管理委託料の考え方の整理等を含めて経営改善に取り組む。		

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者福祉会館	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当課
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	R4.8(S60.3新築を一部改修し移転、築満38年)
設置目的	市内に居住している身体障害者の交歓及び厚生福利の増進並びに社会福祉活動の進展を図る施設として設置		
主な事業内容	尼崎市立身体障害者福祉会館の維持管理及び貸館業務		
指定管理者名	特定非営利活動法人 尼崎市身体障害者連盟福祉協会	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	☐ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 身体障害者福祉会館の利用者数の増加											
	実施結果 貸室利用率は目標未達成だが微増しており、貸室利用者は目標値の171%と目標を大きく超えて達成している。 (指標①②)											
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況											
	指標①：貸室利用率（単位：％）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	27%	28%	29%	30%	31%
	実績	-	-	-	-	-	-	26%	23%	24%		
	達成度	-	-	-	-	-	-	96%	82%	83%		
	評価	-	-	-	-	-	-	○	△	△		
効率性	指標②：貸室利用者数（単位：人）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800
	実績	11,286	11,413	11,184	9,936	2,451	2,896	5,344	7,101	7,530		
	達成度	-	-	-	-	-	-	134%	169%	171%		
	評価	-	-	-	-	-	-	◎	◎	◎		
	◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）											
	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 利用者の満足が得られる貸館業務及び施設管理運営を行う。											
	実施結果及び評価 すでに予約が入っている貸室の問い合わせがあった時などは、利用人数や利用目的にあった部屋に移動を提案するなどして、なるべく多くの利用者に満足してもらえるように配慮して運営ができています。											
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）											
パートナーシップ	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。											
	実施結果及び評価 こまめな消灯の徹底など温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。											
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している											
	(参考) 経費の状況（単位：円）											
	収入			支出								
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引				
	指定管理料	4,775,000	4,775,000	0	人件費	4,013,000	4,111,416	-98,416				
					事業費	0	0	0				
					施設維持管理運営費	56,000	13,560	42,440				
					事務費	706,000	620,676	85,324				
	収入計	4,775,000	4,775,000	0	支出計	4,775,000	4,745,652	29,348				

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	障害者団体である指定管理者の視点や施設利用者の立場も踏まえた自主的な管理が市民サービスの向上、管理経費の縮減等につながること。
指定管理者自身が設定した目標	指定管理者である身体障害者連盟協会をはじめとする障害者団体が利用しやすいように維持管理に努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	利用しやすい施設としてより多くの障害者に利用してもらおう。						
目標指標	指標	貸室利用者数(単位:人)					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	令和6年度の目標を達成しており、達成状況は良好である。
	実績値	5,344	7,101	7,530			

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	要改善
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	協議事項があれば、所管課が施設を訪問する等、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	令和4年8月1日の教育・障害福祉センター移転後に一般利用者を含め、利用者数が増えている。長寿命化改修工事の影響で利用できない日程もあったが、工事にかかわる他部署等や指定管理者と調整し、滞りなく利用することができた。また、利用の許可等に疑義がある場合は所管課と指定管理者で協議を行い、スムーズに館運営が行われている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	教育・障害福祉センターへの移転後、施設の利用方法を見直したことについて、利用者からほぼ理解が得られるようになり、順調に運営出来ている。長寿命化工事の際も協力的であり特に問題は起こらなかった。管理人の増加に伴い、SNSを利用した情報交換を密に行うようにして、利用者へ迷惑がかからないように努めることができた。今後も利用者の障害特性に配慮し、実態に則した運営ができるよう、所管課と運営方法について協議を行っていきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	一般利用も含め利用者が増加し、長寿命化改修工事の影響で利用できない日程もあったが、大きな問題もなく館運営が継続できている。障害者への情報支援機器等を活用した館運営を所管課と指定管理者で協議して考えていきたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	教育・障害福祉センター及び立花体育館大規模改修工事が完了し、施設利用上のきまりなど、教育・障害福祉センター2階の身体障害者福祉センター等の他施設と足並みをそろえるべき事項については所管課主体で調整を行い、より多くの障害者に利用してもらえる施設を目指していく。	